



江府町報

第220号

発行者
鳥取県江府町
電話江尾代75-2211
編集 総務課
印刷 (有)富士印刷

江府町の人口

(10月31日現在)

世帯数	1,222	世帯
人口	4,765	人
	前月比	+ 2
(男)	2,295	
(女)	2,470	
出生	1	
(男)	0	
(女)	1	
転入	10	
(男)	2	
(女)	8	
転出	3	
(男)	2	
(女)	1	
死亡	6	
(男)	2	
(女)	4	

第5回

まちとむらの交流大会

快晴の東京代々木公園に

40万の人の波

農村に接する機会の少ない都市の人たちに、農業・農村と国民生活とのかわりあいについて理解を深め、都市と農村の結びつきについて考えていただくこと、第五回「まちとむらの交流大会」が十月二十九日、三十日の二日間、東京代々木公園で開催されました。

この大会は、農林水産省・東京都の後援により、まちとむらの交流推進委員会が主催し、賛同する市町村が共同で実行するもので、今年は全国から六十六市町村が参加、十団体、七企業が出展いたしました。

(次ページへ続く)



(前ページより)

二十九日午前十時三十分、財団法人農林漁業体験協会片貝光次理事長の開会宣言で始まったオープニングセレモニーには、農林水産省から松山光治構造改善局長、安橋隆雄農政部長、本田浩次構造改善事業課長を来賓に迎え、本大会主催者を代表して、まちとわらの交流促進委員会会長の井上町長がいさつ、テープカットを行なって開会、二日間には多彩な催しがくりひろげられました。

初日は、農業教室が行なわれ、会場近くの神宮前小学校の児童が体験学習をしました。

初めてみる農業機械に目を白黒させ、また米の出来る過程を実際に本物を使って学習、都会では経験できないこの体験学習にすっかり満足していました。また、全員が都会でも栽培できる「稲の缶詰」をもらい、とてもうれしそうでした。きっと来年の今頃にはりっぱに実ることでしょう。

その他、もちつき大会、各種手づくり教室もおこなわれ多くの人が参加、実際に作って食べる楽しさを味わいました。

二日目は、昨日の寒い曇り空から一転して秋晴れの青空が広がりが大勢の人で賑わいました。郷土色豊かに工夫をこらして飾りつけられた各市町村の展示即売コーナーのテントはどこも黒山の人だかり。郷土の特産品のピールに余念がありません。来場者のなかには、全国各地からの特産品を味見しては両手に持ちきれないほど買いこんで帰る姿も見受けられました。

江府町からは農協・役場職員十七名が代表として参加し、高原だいこん、白ネギ、ホウレン草、みそ、漬物、ボン米、焼米などを販売いたしました。

野菜の新鮮さは多くの来場者を引き寄せ、ボン米は昔なつかしいふるさとの味を想いおこさせました。

また今年も、本町出身者で東京及び東京近郊で暮している方々を事前に町民のみなさんに紹介していただいで招待する「ふるさとコーナー」を

設けました。六十名の方が来場され、お国訛りで談笑、思い出話に花が咲きました。

今年も、郷土芸能の上演中止等「華やかさ」はありませんでしたが、素朴ななかにも「まち」と「むら」の真の交流が出来た大会でありました。



「ふるさと」コーナー

▼江府町展示即売コーナー



町長日誌

* 10 月

- 1日(土) 日野郡職員球技大会 (日野町)
- 3日(月) 西部広域正副管理者会(米子市)
- 4日(火) 主要地方道江府中用瀬線辰己峠地区工事開通式
- 5日(水) まちとむらの交流大会打合せ会
- 6日(木) 県境開発促進協議会委員会(鳥取市)、西部町村パドミントン大会(溝口町)
- 7日(金) 中南米教育視察団来町、県町村会来庁、山陰中央新報社来庁
- 8日(土) 洲河崎山村広場起工式、第24回郷土民俗芸能大会(東郷町)
- 9日(日) 西部地区少年剣道錬成大会
- 10日(月) 江府町庭球大会
- 11日(火) 西部広域正副管理者会(米子市)、西部町村会(米子市)、町内吊問
- 12日(水) 西部福祉事務所所長来庁、県耕地課長来庁、江尾小学校佐々木教諭(海外派遣)

天神ばやし太鼓保存会

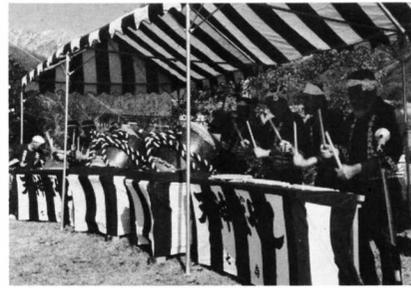
本家と分家が競演交流

十一月六日、秋晴れの青空に紅葉が映える奥大山に、勇壮な太鼓の音が響きわたりました。

これは、去る六十年に「伯耆天神ばやし」として、茨城県常陸太田市天神林町より分家の承認をうけた同保存会（会長・井上町長 会員二十四名）と本家天神ばやし保存会（清水誠会長 会員七百名）

との共演によるものです。

「本家の天神ばやしをぜひ江府町で」と招かれたもので、本家天神ばやし一行十二名は五日夕方に来町し、早速本場の天神ばやしを披露、また本町保存会も日頃の練習成果を聞いてもらい、「短期間のうちによく上達したものだ」と、本家も満足気でした。当日は、紅葉狩りの行楽客



で賑わい、響きわたる太鼓の音にしばし足を止めて聞き入っていました。

おめでとう

ございます



緑白綬有功章
(農事功労者)受章
梅田文二 さん (下蚊屋)

「高冷地野菜として夏大根を導入、土づくり、栽培技術の向上等に努め、規模拡大を図り、経営の柱として夏大根を位置づけまた、導入以来中心となって、栽培面積の拡大、技術の統一を図り、共販体制を確立、町内四生産組合をまとめて、南大山夏大根生産組合連絡協議会を設立し、より強力な組織のもとで産地化を図り京阪神市場屈指の夏大根産地を育成した」功績により受章されたものです。



教育行政功労者表彰

井上健治町長

鳥取県教育委員会40周年記念式典において、昭和32年10月から2期4年8か月にわたり任命制の初代教育委員を務め、教育委員会創設期の基盤づくりに尽力した功により、教育行政功労者として表彰されたものです。

元気に 高齢者スポーツ大会

十月二十七日、健康増進とお互いの親睦をはかろうと、第十回高齢者スポーツ大会が、町民体育館で開かれました。

これは、町老人クラブ連合会と明德学園学生自治会が主催したもので、約四〇〇名が参加、四地区七チームにわかれてラケットレース、玉入れ競争など七種目を和気あいあい楽しみました。

厳粛に町慰霊祭

十一月十一日、江府町戦没者並びに殉職者慰霊祭が土井之内会館で、神式により行なわれました。

式には、遺族、来賓ら二〇〇余名が参列、尊い犠牲者のめい福を祈りました。遺族を代表して町遺族会足立正男副会長が「多くの戦没、殉職諸英霊の安らかなごめい福を祈るためにも、遺族一同力を合せてお互いの幸せと町の発展のため微力を尽してまいります。」と謝辞を述べられました。

式終了後は、歌や踊りの演芸で遺族の慰安を行いました。

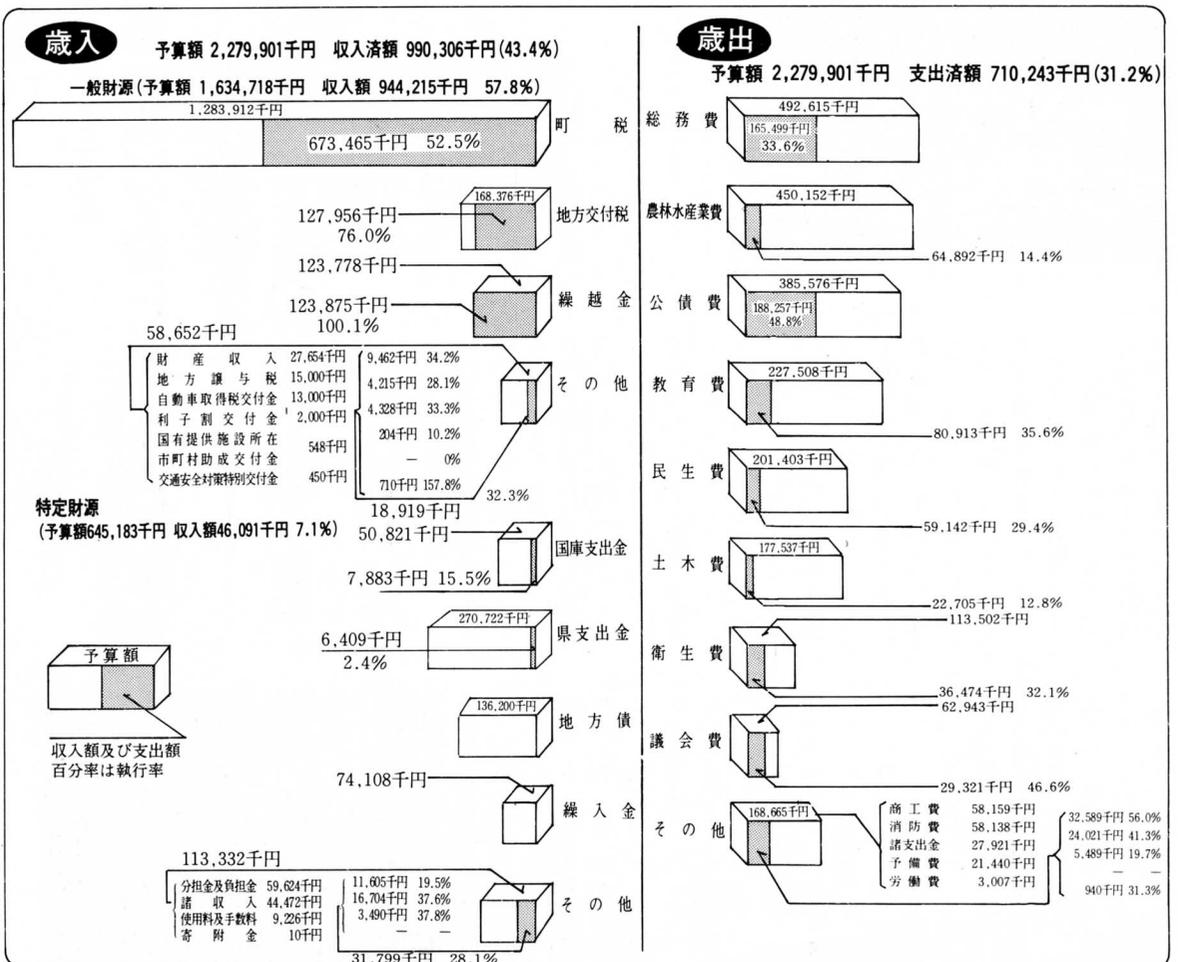
13日(木)	来庁、第一共同簡易水道組合総会
14日(金)	町内弔問
15日(土)	町職員互助会
17日(月)	在勤、大山麓開拓事務所長来庁
18日(火)	過疎地域振興立法措置中四国ブロック陳情会(東京)
20日(木)	在勤
21日(金)	西部町村会(米子市)
22日(土)	第30回中四国ブロック民俗芸能大会(出雲市)
23日(日)	町民バレーボール大会、根雨高校第二グラウンド開き(日野町)
24日(月)	文化講演会
25日(火)	入札、町食生活改善推進協議会役員来庁
26日(水)	日本道路公団助沢工区祈願祭、西部議員研修(三朝町)
27日(木)	昭和64年度土木所管事業陳情会(日野町)
28日(金)	町高齢者スポーツ大会(町立体育館)
31日(月)	第五回まちとむらの交流大会(東京)

昭和63年度上半期 財政状況報告

昭和63年4月1日から昭和63年9月30日までにみなさんが納められた税金や国からいただいた地方交付税などがどのくらい入り使われたかを図表に表わしました。

財産表			積立基金 (単位千円)		町税の調定と収入 (単位千円)			公債費及び一時借入金現在高 (普通会計) (単位千円)					
区分	種目	数量	基金名	現在高	税目	調定額	収入額	徴収率	区分	金額	区分	金額	
行政財産	土地	94,270㎡	財調基金	186,189	町民税	101,128	59,586	58.9	一般公共	4,731	過疎対策	1,202,077	
	建物	14,825㎡	公有林野基金	147,203	固定資産税	1,160,026	591,191	51.0	一般単独	36,070	地域改善	171,276	
公共財産	土地	1,188,827㎡	土地開発基金	10,000	軽自動車税	6,720	6,623	98.6	公営住宅建設	70,064	臨時財政特例	11,415	
	建物	19,444㎡	運動公園運営基金	50,000	たばこ消費税	9,740	9,740	100.0	義務教育	79,159	調整	9,788	
普通財産	土地	3,909,965㎡	集落経営基金	459,313	電気税	5,945	5,945	100.0	辺地対策	—	財源対策	37,372	
	その他	5,402千円	肉用牛導入事業基金	7,809	木材取引税	—	—	—	公共用地	7,180	県貸付金	20,309	
				合計	860,514	特別保有税	360	360	100.0	災害復旧	29,961	その他	473,136
						合計	1,283,919	673,445	52.5	一般廃棄	19,035		
										厚生福祉	254,547		
										転貸債	20,339	合計	2,446,459
										一時借入金	—		

一般会計財政状況



わだ い

神話の国で民俗芸能の競演!!

第30回中・四国民俗芸能大会

第三十回中国・四国民俗芸能大会が、十月二十二日、神話のふるさと出雲市の出雲市民会館で開催されました。

この中国・四国民俗芸能大会は、文化庁の移動芸術祭参加行事として毎年一回中国・四国管内で開催され、今年で三十回を数えます。

中国・四国の各県に古くから伝承されている優れた民俗芸能を一堂に集め、広く紹介し、その保護と活用の気風を醸成するものです。

当日は中国・四国各県より十団体が参加し、鳥取県からは江府町の「江尾のこだいち踊」が出演しました。

「江尾のこだいち踊」は鳥取県の無形文化財に指定されており、出演した二十一人の皆さんは、日頃から踊りなれたしぐさの中に五百年の伝統芸を熱演。哀調を帯びた踊り

に、出雲市民会館の約八百人の観衆を魅了しました。今回出演された皆さんは次のとおり。

- 音頭 清水 久き(吉原)
- 〃 生田 正き(久連)
- 太鼓 妹尾 昶き(西成)
- 〃 藤岡 昭人き(貝田)
- 〃 沢口 勉き(助沢)
- 〃 仲嶋 勝利き(本五)
- 〃 上原三紀子き(本一)
- 〃 堀田 典子き(本一)
- 〃 道下 里美き(本一)
- 〃 永岡 雅子き(本一)
- 〃 権田 靖子き(本五)
- 〃 安藤 秀子き(佐川)
- 〃 宮本 師子き(尾上原)
- 〃 森田 鈴恵き(貝田)
- 〃 岡田利栄子き(貝田)
- 〃 森田 里美き(貝田)
- 〃 森田美代子き(貝田)
- 〃 森田美登恵き(貝田)
- 〃 森田みのりき(貝田)
- 〃 細田 英枝き(本一)
- 〃 入江 恭子き(新一)

昭和六十三年度

第一回ジゲおこしキャラバン隊

西尾鳥取県知事が

下蚊屋荒神楽保存会を激励

十一月九日、本年度としては初めての「ジゲおこしキャラバン隊」が来町、下蚊屋荒神楽保存会(大岩勝実会長)がその訪問を受けました。

これは一昨年から県が実施しているもので、県下各地で積極的にジゲおこしに取り組んでいる団体を訪ねて激励し、その活動を促進するとともに

に、県民一般のジゲおこしの気運を高めようと、毎年行なわれていきます。

西尾邑次知事を隊長としたこのキャラバン隊一行は、秋晴れの陽差しのなか、井上町長以下町職員、下蚊屋部落役員、保存会会員の待ちうける下蚊屋山口神社に到着。同神社境内にある神楽殿に迎えられるました。

部落を代表して梅田文二副区長が歓迎のあいさつ。つづいて保存会を代表して、小椋康宣副会長があいさつ、保存会会員の紹介をするとともに最近の活動状況を報告しました。その後、約三十分におわたって八重垣能「大蛇退治の場」が披露されました。

西尾知事は「特産物をつくるだけでなく、内に秘めた力をつくして何かをやろう。それが一声運動であれ、古くか



らの伝統芸術の伝承であれ、物と金の充実した現代において心を充実させることがジゲおこしである。この神楽を代々伝えて、潤いのある村づくりをして下さい」と神楽の舞のお礼を述べ、キャラバン隊の訪問記念として楯が保存会に贈られました。

保存会会員と懇談、昼食後キャラバン隊は次の訪問地名和町に向けて出発しました。この度のキャラバン隊の訪問は、「伝統ある荒神楽を継承保存していくため、神楽舞の練習を重ね、各種の行事等で成果を披露して、ジゲ文化の普及に努めている」と、保存会の活動が認められたもので、今後一層の活躍が期待されます。



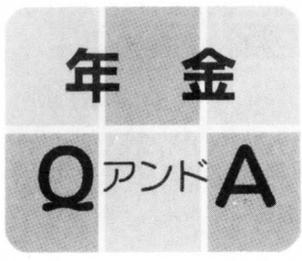
奥大山チロルの里だより (11)

・民芸品等工芸施設

地場産業の育成もチロルの里づくりの大きな柱になっていきますが、かつて奥大山で栄えた木地師の里を現代に甦らせようと、このほど木工工口を備えた施設(写真)を完成させました。

奥大山の風雪に耐え年輪を重ねてきた古木が工芸特産品としてスポットをあびるのももう間もなくです。

※場所 江府町大字久連(白住地区)



Q 私は夫の扶養になっていた会社を退職しました。手続きはどうすればよいのでしょうか。

A 会社に勤めていた人が、20〜60歳前に退職したときは、個人で国民年金に加入することになります。第2号被保険者(厚生年金加入者)から第1号被保険者(国民年金加入者)となるわけですから、保険料もご自身で納めて下さい。

またサラリーマンの奥さんもお主人が退職すると第3号



被保険者(サラリーマンの奥さん)から第1号被保険者となり、60歳になるまで国民年金に加入しなければなりません。その場合、市区町村役場への届出が必要です。

選挙一口メモ

1(5)第三者の選挙運動

選挙運動には厳しい制限が設けられている。したがって一般の第三者は選挙運動という何でも選挙違反になるのではないかと思いがちであるが、必ずしもそうではありません。

そこで、第三者でもできる運動について、二〜三例を掲げてみることにしましょう。

一、選挙運動としての戸別訪問は禁止されているが、街頭で行き会った人、バスや列車の中で出会った人など

に投票を依頼することはいわゆる「個々面接」であり、差し支えない。

二、電話で一人一人を呼び出して行う選挙運動は自由に行うことができる。

三、選挙と関係のない町内会、同窓会などの会合に出て、自分の支持する候補者のために協力を依頼したり、そのために演説をしたりすることは差し支えない。

しかしながら、わざわざそのために人を集めて演説をすることはできない。

四、選挙運動を禁止されている者や政治的行為が制限されている公務員は注意することが必要である。

昭和63年度

日野郡ブロック明るい選挙推進指導者研修会を開催

日野郡四町の選挙管理委員会が、県選挙管理委員会と共催で毎年実施しているもので、今年度は、十一月八日、本町土井之内会館において開催、各町から明るい選挙推進委員など約百名が出席、明るい選挙の推進にむけて、熱心に研究、討議を行いました。



♡保健婦からひとこと……正しい生活習慣を

十一月十三日、土井之内会館で「健康づくり講演会」が開催されました。

講師に、帝京大学医学部教授道場信孝先生をお迎えし、「心臓発作を防ぐ」というテーマでわかりやすくお話しをしていただきましたので、ここに要旨を紹介いたします。

『江府町は、人口の減少、老齡化傾向にあるとはいえ、健康状態は大きな問題はないと思われます。』

死亡の原因は、脳卒中死亡が多かったが、現在は減少傾向にあり、悪性新生物の死亡が増加しているようです。

江府町の健診の受診率を見ると、一般健診・結核検診の受診率は高く、がん検診(胃・子宮)の受診率はあまりよくないようです。悪性新生物の死亡が増えているだけに健診をもっと多くの方が受けられることが大切になってきます。健康であってこそ生きがいが生まれてきますが、では、「健康」とは何でしょうか。健康について、いろいろ定義がありますが、世界一の長寿

国になった今、病気でない人は少なくなってきました。ですから、肉体的欠陥があってもその人が住んでいる環境に上手に適合して、生きがいのある生活をしていれば健康であるといえるのではないかと思います。

そして、年とってから肉体的欠陥がでてくるのは、生活習慣の悪さに起因しています。心臓の病気もいろいろありますが、動脈硬化によるもの、血管の老化によるもの、などが大きな問題になってきます。

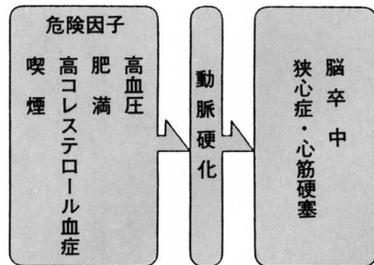
どちらにも、やはり生活習慣の悪さにあり、生活を正せば予防できます。心臓の病気による死亡は、欧米諸国ほど多くありませんがこれから四十歳以下の人たちが六十歳以上になった時に増えることが考えられます。

動脈硬化は、すぐおこるのではなく、①動脈硬化を進める期間(○歳～四十歳頃)②動脈硬化を完成する期間(四十歳～五十歳代)③心臓病を発症する期間(六十歳代)と段階を経ておこります。

動脈硬化をすすめる要因としては、遺伝・環境・ストレス食事・嗜好品(たばこなど)などがあり、高血圧・高脂血症も動脈硬化を促進させます。まとめると、脳卒中・心臓疾患などの現在の死因の大部分をしめているものは、動脈硬化に関係しています。

そして、動脈硬化は、日常生活を改善することにより予防できます。今の病気は、医者の治せるものが少なく、自分が治すためにどのように毎日の生活を送ったらいいか、医者からの情報に基づいて努力する必要があるります。』

最後まで、日常生活習慣の大切さを強調されました。皆さん、自分の生活を省りみて改善すべき習慣はなありますか。



♡国保健康クイズ(答は次ページ)

がん年齢といわれるのは何歳から?

- ① 男30歳、女25歳から
- ② 男40歳、女30歳から
- ③ 男50歳、女40歳から

国民健康調査による有病率は男より女のほうが高い?

- YES
- NO



江府町版(一九八九年版) 県民手帳の購入はお早めに
江府町版県民手帳の残り部数がわずかとなりました。今年ではデザインを一新、大きく薄くなって使いやすい日記式手帳に変身。
購入希望の方は、お早めに
お求め下さい。

- 購入場所 役場総務課
- 購入方法 現金と引替え
- 価格 一部 三〇〇円

人の動き



10月届け

□お誕生おめでとう

本一 小倉 一姫 貞道長女

♡ご結婚を祝します。

- 藤原 雅和 俣野
- 植田真由美 岡山県真庭郡
- 長尾 徹 武庫
- 木村 陽子 兵庫県三木市
- 加藤 正久 名古屋市中種区
- 大田 裕美 吉原から
- 遠藤 光夫 米子市
- 宇田川恵理 武庫から
- 日下 学 小江尾
- 内田 文子 境港市から
- 加藤三紀夫 佐川
- 久古 幸子 日野郡日野町
- 秋田 峰夫 小江尾
- 永田加奈恵 米子市から
- 末次 憲司 宮市
- 上原美智代 大阪市大正区

■ごめい福を祈ります

- 美 用 景山 茂69歳 キクエ宅
- 本 四 芦立 豊一89歳 喜明宅
- 日の詰 中尾ふくよ85歳 唯秋宅
- 本一 沢山 豊子74歳 豊子宅
- 下蚊屋 小椋ひさよ80歳 隆治宅
- 新一 山形 万代81歳 好枝宅

ありがとう

ございました

10月中寄託分

■香典返しとして

- 美 用 景山 富夫 殿
- (父茂様ご逝去)
- 新 一 山形 好枝 殿
- (義母万代様ご逝去)

□内祝として

- 洲河崎 影山 久志 殿
- (二男拓郎様退院)
- 新 道 宇田川 勉 殿
- (ご本人様退院)
- 本 五 山内 邦男 殿
- (ご本人様退院)

日ノ詰 坂口 千秋 殿

(ご本人様退院)

御 机 岡 伐子 殿

(ご本人様退院)

小 原 川上 賢佑 殿

(ご本人様退院)

深 山 口 松原 芳子 殿

(ご本人様退院)

小 江 尾 篠田 忠良 殿

(ご本人様退院)

大 河 原 永岡みずほ 殿

(ご本人様退院)

新 道 大塚 忠行 殿

(ご本人様退院)

佐 川 住田 孝昭 殿

(長男雄一郎様退院)

洲 河 崎 三好三枝子 殿

(ご本人様退院)

西 成 小澤 勝稔 殿

(ご本人様退院)

本 五 仲嶋 真道 殿

(ご本人様退院)

江府町社会福祉協議会 善意銀行受払報告

- 九月末累計額 二五、〇〇〇円
- 一、六〇四、六六五円
- 十月申寄託額 二九〇、〇〇〇円
- 内 祝 二五、〇〇〇円
- 内 祝 二二〇、〇〇〇円
- 特別寄付 五五、〇〇〇円
- 3、支出額 なし
- 4、十月末累計額 一、八九四、六六五円

□特別 寄付

山陰中央新報社

社長 又賀 清一 殿

国保健康クイズ 答えと解説



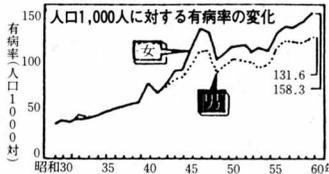
-1-
②

★男性の場合、40歳を境に、胃がん、肺がん、肝臓がん、大腸がん(直腸がん、結腸がん)など、30歳代に比べて3倍以上の伸び率でふえてきます。こんな統計からも、男性のがん年齢は40歳からといえるでしょう。

★女性の場合、最近、子宮がんと乳がんが30歳から急激にふえてきていますので、がん年齢は30歳からといえます。
★ご存知のように、ほとんどのがんは初期には症状があらわれにくく、気づいたときにはかなり進行していることが多いものです。それを防ぐには、残念ながら今のところ健康診断しかありません。「転

-2-
YES

★人口1000人当たりの傷病件数を示すのが「有病率」です。この有病率が、図のように年々高くなっています。有病率が高くなっている原因としては、高齢化社会の進行に伴い、高血圧や糖尿病、胃・十二指腸潰瘍などの慢性疾患が増えているためと指摘されています。
★「身は病の入れ物」といわれています。自分では若いと思っても、いつの間にか体力は衰え、病気がかりやすくなります。健康診断で健康生活をうまくコントロールしましょう。



以上
社会福祉協議会にご寄付いただきました。厚くお礼申し上げます。